

E一 初節句

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に 天理教  
○○分教会長○○○○慎んで申し上げます

この度親神様の広大無辺なお働きにより ○○○○、○○夫妻の  
長男○○は昨年十二月七日この世に生を受け 初めての端午の節  
句を迎えさせて頂きました

お陰様で毎日明るく元気に家族一同へ笑いの種を与えてくれてお  
りその成長ぶりを眺め両親を始め一同 こよなき幸せを味わって  
おります。

思えば私達がぐっすり寝ている間も 温み水気五分五分の御守護  
に浴し つく息ひく息など片時の休みもなく 体の隅々までお見守  
り下さっている賜物であり 誠に御礼の言葉もございません

この上は我が子といえども その実は親神様の可愛い子供をお預  
かりしているという自覚と責任を改めて心に治め 陽気遊山の世  
界づくりという 親神様の人類創造の思召に添って 今後は一層世  
の為人の為に精一杯の真実を傾けて参りますが どうか親神様に  
は先になり後になり ○○○の上には限りないお恵みをおかけ下さ  
れ 世界たすけのお道の子供として かつ又有為なる社会の子供と  
して 充分に長命の理と末長い多幸の人生をお与え下さいますと  
共に 今日の喜びを持場立場を通し 広く地域社会の人々に移せま  
すようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます